北海道旅行記（2）

高井 珠希

北海道旅行記にも関わらず、前回は上陸できずに記事を終えてしまった。その反省を踏まえて、今回は北海道に無事上陸したところから始めようと思う。

で、北海道（函館）に着いた。旅の目的はもちろん食べ物！ウニにイクラにラーメン、それからジンギスカン…。

私たち夫婦はこの日のために夫婦で頑張って貯金してきた。百円ショップで「百万円貯まる」貯金箱を購入してから苦節二年、ようやく、遂に、この日が訪れた。

用意してあった三徳缶切りで、貯金箱の上部をぎりぎり言わせながら開ける。引っぺがして中身をジャラジャラとポリ袋に移動させる。

「いくらあるだろう？」と声を弾ませて夫に尋ねる。

えっせい

「十万くらいじゃないかなあ」

「そんなことないよ。二十万はあると思う」

でも実際は七万円ちょっとしかなかった。意外と貯まらないものだ。尤も、五百円玉専用の貯金箱にも関わらず、百円玉や一円玉まで入っていたのだから仕方がないのかも知れない。とにもかくにも、その七万円が、この旅の食費の全てだ。

北海道上陸の翌日、早速ウニ丼を食べた。しかし残念ながらまだ漁が解禁されていなかったので、ロシア産のウニを食べることに。だけどそれでも十分美味しい。お腹いっぱいになったところで、北海道名物「ガラナ」を流し込む。うまい。私はやっぱりドクターペッパーより、こっちの方が好きだなあ。　結局、北海道滞在中に飲んだガラナは十本を超えた。

その翌日は強行軍だった。昼十一時きっかりに札幌のジンギスカン店へ。二人前注文する。すぐにやってきた皿を見ると、すごい量の肉と野菜。プラスおにぎり。大食漢の夫婦なので予め四人前注文しておこうかとも思ったのだが、やめて正解だった。

十一時半をまわっても、客は私たちともう一組しかいなかった。そのもう一組の客の中に、主人の元上司であるTさんに激似な人がいたらしいのだが、いつまでも眺めてはいられない。これからすぐにラーメン屋に直行するのだから。

重たい腹を抱えつつラーメン屋ののれんをくぐる。そんな状況でも「うまーい！」と叫んでしまう札幌ラーメンの底力に驚嘆。鉛のような胃袋を引きずりながら車に戻り、洞爺湖畔の温泉を目指した。

洞爺湖

源泉掛け流しの温泉につかり、芯までリラックス。頭にタオルを巻いて休憩所に戻ると、「Tさんいた！」と興奮気味の夫。聞けば、昼ジンギスカン店で見かけた、上司にそっくりな人物が、隣で湯につかっていたという。すごい巡り合わせだ。この広い北海道の大地で、彼らと我々は同じコース（しかも結構マイナーな）を辿ったというのだから。

そんなわけで、無事自宅に戻ってこの北海道旅行をしみじみ懐かしんでいると、どうしてもTさん（のそっくりさん）を思い出さずにいられない私たちだった。（終わり）

（寄居町）

サツマイモの日 ～れぽーと～

10月13日、この日が何の日か分かる人はどれだけいるだろうか。確かに松嶋菜々子の誕生日でもあるが、ここで言いたいのは「サツマイモの日」である。

同日、川越市内にある妙善寺では「いもの日まつり～いも供養～」が行われていた。

いもまつり

会場では、焼芋おじさんの焼いも、いも供養、先日発売された「サツマイモ再発見！」のDVD上映会等、100人を超える参加者、観光客で会場は賑わい、「奉納芸能～いも演芸～」に一喜一憂していた。

また、上映されたDVDの中で「紅赤を作り続けて63年」として紹介された高橋道夫さんが、周りの参加者と何ら変わらずに場内を歩き、まつりを楽しんでいた。気付いた人達は有名タレントを街中で偶然見かけた様な表情をし、「あれって、さっきのサツマイモ名人の人じゃない!?」とヒソヒソ声を出していた。

最近の祭りは黄色いテントで発電機を使った出店が会場を埋めている事が多く、出店に関してだけ言えば殆どの祭りでありふれた感は否めない。それに比べてこの「いもの日まつり」にそういった見慣れた感はなく、大きな祭りではないが懐かしい「地域の手造り祭り」の雰囲気がした。

終わりの時間が近づいた頃、さつまいも地蔵尊を見ると、地蔵尊が抱いているサツマイモが夕焼けで「紅赤色」に染まり、このまつりが良い供養になった証に思えた。

（石橋啓一郎）

超高精細４ｋ映像作品『かぐやの夢』

立教大学（新座市）

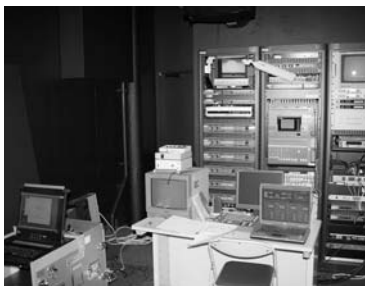
立教大学と、日本科学未来館（毛利衛館長）が共同制作した、超高精細４ｋ映像作品『かぐやの夢』が完成、科学未来館に続き、同学新座キャンパスでも上映会が開かれている。

同学新座キャンパス内にある４ｋシアター教室（ロフト２）は、幅６～７メートル４ｋ映像対応のスクリーンを備え、座席数は１８０席。日本でも４ｋ映像対応のスクリーンは珍しく、デジタル映画になれば、ハリウッドから映像を配信し映画をここで放映したり、ここで撮った映像を他の映画館に配信するといったことが可能で、映画とテレビの長所を組み合わせたメディアが誕生する。

佐藤教授は「将来的には、ここから学生が作った映像を配信していきたい」と語る。（日比雄人）

（問い合わせ先　立教大学映像身体学科０４８・４７１・６９８２、志木駅より徒歩）

かぐやの夢



映写室

４ｋは、ハイビジョンの４倍という超高画質の「デジタルシネマ」と呼ばれる最新の映像規格で、同学佐藤一彦教授が放送局、映画会社などに先んじて制作手法の開発研究を進めている。『かぐやの夢』は、佐藤教授構成・演出、日本の月周回衛星「かぐや」をめぐる次世代型大型展示映像。

紹介

「マンション住民・管理組合のためのマンション管理基礎講座」

東京国際大学エクステンションセンター（川越市）

マンション居住者の利害関係や管理組合のルールをわかり易く解説します。知っておきたいマン管法、管理規約、管理組合、理事会の運営など。

☆講師：塩島武徳（頭脳集団ブレイン）

☆日時：11月29日（土）10時～16時

☆受講料　九千円

☆会場　東京国際大学エクステンションセンター（第1キャンパス2号館1階）　☆問い合わせ　049・234・2758

募集

「リウマチってなに？～病気の種類・診断・治療は？～」

埼玉医科大学市民公開講座　12月13日（川越市）

①「膠原病」13時～14時30分　亀田秀人（埼玉医科大学総合医療センターリウマチ膠原病内科講師）

②「関節リウマチ」15時～16時30分　竹内勤（埼玉医科大学総合医療センターリウマチ膠原病内科教授）

☆会場：埼玉医科大学川越クリニック6階大会議室　☆受講料：千円

☆申し込み、問い合わせは、埼玉医科大学医学教育センター市民公開講座係049・276・1707

案内

第2回「アジア芸能の夕べ」

12月6、7日　大東文化大学東松山校舎

☆12月6日　体験講座15時～、16時～　ジャワの宮廷ガムラン音楽体験　公演18～20時30分　タイの古典舞踊と民俗舞踊　北インド古典舞踊カタック　南インド古典舞踊バラタナーティヤム

☆12月7日　体験講座バリ舞踊体験11時～、12時～　公演　バリ島のガムラン音楽と舞踊　アラブ舞踊ベリーダンス

☆会場：大東文化大学東松山キャンパス六十周年記念講堂　☆入場：無料、要申し込み　☆問い合わせ：東松山市岩殿560大東文化大学国際関係学部事務室0493・31・1513

編集雑記

今月号で、川越の観光について取り上げたが、正直なところこれだけ有名になると、私自身はあまり魅力を感じなくなる。

むしろ人がまだ注目していないで眠っている観光資源を発掘することに面白みがあるし、本紙の使命もそこにある。

その意味で注目されるのは、小川である。小川は「小京都」と呼ばれ、歴史的街並みと文化財、和紙など工芸品の豊かな町だが、川越に比べ遠く規模も小さく、観光地としていま一つだ。

しかし、取材でたびたび訪れ、引き込まれてきた。人もまばらな市街だが、そのさびれ方に味わいがある。昔の川越の様だ。本紙第19号で紹介した割烹の二葉もそうだが、歴史ある店が頑固にがんばっているのがいい。

そして周囲の緑。本紙15号で紹介した「有機農業のカリスマ」金子美登さんの長年の努力もあって「有機の里」として全国的にも有名になってきた。金子さんの生産物を、やはり本紙で紹介した晴雲酒造のレストランや、とうふ工房わたなべ（ときがわ）で食べられるが、ハッとするおいしさ。

和紙自体は、今の時代に受け入れられにくいが、関連で面白い工芸品も生まれている。小川を歩いてみてください。

編集・発行人　金子豊治郎
［編集スタッフ］
泉沢　勉　岩瀬　翠
森野　範子　山下　龍男
金子　敏満　石橋啓一郎
新美　知驍　早川　圭一
高井　珠希　小崎　桂子
筏丸いこ　日比　雄人
城西大学新聞編集部
［寄稿］
周防　洋　國分　紀子
大塚佳代子　葵　和歌

本紙からのお知らせ

1. 投稿の募集

2面「道しるべ」欄の原稿を募集します。エッセイ・雑感など、内容は自由です。また沿線地域の写真、イラストなども募集しています。

2. 情報提供のお願い

取り上げてほしい話題、・人物・企業・街のお勧めスポットなどの情報をお寄せください。自薦・他薦は問いません。

3. 広告・PR記事の募集

購読者からのPR記事については、無料にて掲載いたします。

4. 営業スタッフの募集

読者獲得、広告の交渉などを担当していただける方を募集しています。お仕事は週1回からで結構です。それ以上できる方は大歓迎です！

大学生・一般向け
全 140 講座以上
講座案内 2008年度
教養・生活・健康
TIU 市民講座
ビジネス、医療・福祉
外国語会話（6カ国語）
パソコン、就職対策
国家資格取得、等
後援／川越市教育委員会
お問合せ・資料送付無料
東京国際大学エクステンションセンター
http://www.tiu.ac.jp/extension
Tel.049-234-2758 Fax.049-234-2759
〒350-1197 川越市的場北 1-13-1

埼玉医科大学市民公開講座
平成20年度テーマ「加齢と病気」
身近な病気の話題を取り上げ、一般の方々を対象として市民公開講座を開催します。多くの方のご参加をお待ちしております。
場所　埼玉医科大学かわごえクリニック　6階　大会議室
川越市脇田本町21－7　電話：049-238-8111(代表)
受講料　¥1,000(資料代等)　＊初回の方のみ
【お申し込み・お問い合わせ先】
埼玉医科大学 医学教育センター 市民公開講座係
電話：049-276-1707 FAX：049-276-1750 e-mail：lecture@saitama-med.ac.jp

淑徳大学公開講座
2008年度秋季受付中
12月の講座から
◎ わかりやすい日本仏教史
－鎌倉の名刹の歴史－
（12月4日～1月29日の木曜、全6回）
◎ 日本のシャーマニズム研究
（12月8日、15日、22日）
淑徳大学は「共生」を建学の精神として
広く教育活動を展開しています
＜問い合わせ・資料請求＞
淑徳大学エクステンションセンター
171-0022　豊島区南池袋 1-26-9 MYT 第2ビル 7F
TEL 03-5979-7061　FAX 03-3988-7470
E-mail ext@ccb.shukutoku.ac.jp